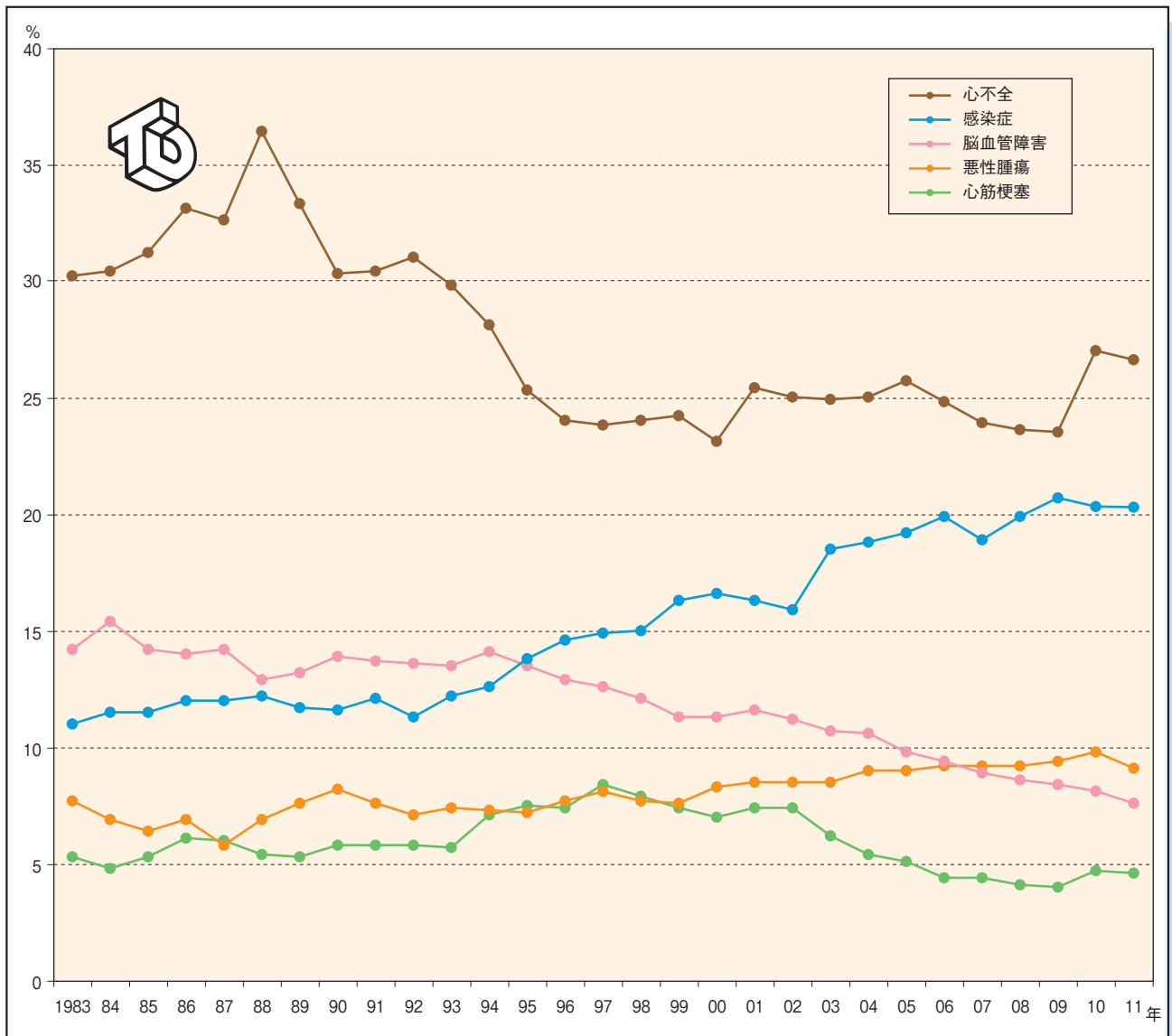


## 5) 死亡原因

### (4) 年別死亡原因の推移 (図表19)



年	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011
心不全	30.3	30.5	31.3	33.2	32.7	36.5	33.4	30.4	30.5	31.1	29.9	28.2	25.4	24.1	23.9	24.1	24.3	23.2	25.5	25.1	25.0	25.1	25.8	24.9	24.0	23.7	27.0	26.7	26.7
感染症	11.0	11.5	11.5	12.0	12.0	12.2	11.7	11.6	12.1	11.3	12.2	12.6	13.8	14.6	14.9	15.0	16.3	16.6	16.3	15.9	18.5	18.8	19.2	19.9	18.9	19.9	20.7	20.3	20.3
脳血管障害	14.2	15.4	14.2	14.0	14.2	12.9	13.2	13.9	13.7	13.6	13.5	14.1	13.5	12.9	12.6	12.1	11.3	11.3	11.6	11.2	10.7	10.6	9.8	9.4	8.9	8.6	8.4	8.1	7.6
悪性腫瘍	7.7	6.9	6.4	6.9	5.8	6.9	7.6	8.2	7.6	7.1	7.4	7.3	7.2	7.7	8.1	7.7	7.6	8.3	8.5	8.5	8.5	9.0	9.0	9.2	9.2	9.2	9.4	9.8	9.1
心筋梗塞	5.3	4.8	5.3	6.1	6.0	5.4	5.3	5.8	5.8	5.8	5.7	7.1	7.5	7.4	8.4	7.9	7.4	7.0	7.4	7.4	6.2	5.4	5.1	4.4	4.4	4.1	4.0	4.7	4.6

患者調査による集計

#### 解説

死亡原因の第一位は心不全であるが、2010年に一旦増加したが、2011年は前年と比べ0.3%の減少であった。感染症による死亡は1993年頃から上昇傾向であり、2011年は2010年と同様の20.3%であった。脳血管障害は1994年以降漸減傾向が続いていて、2010年は8.1%、2011年は7.6%と0.5%減少した。心筋梗塞死亡は1997年の8.4%をピークに最近は漸減傾向であったが、2010年は4.7%と微増したが、2011年には4.6%で0.1%減少した。悪性腫瘍死亡は前年と比較して0.7%の減少であった。心不全、脳血管障害、心筋梗塞を心血管障害による死亡と考えると、2010年は39.8%で2009年より3.8%増加したが、2011年は38.9%で2010年に比べ0.9%減少した。